

**次期愛知県観光振興基本計画（仮称）検討委員会  
第1回マーケティング部会 議事録（概要）**

**■日 時**

2023年6月26日（月）10：00～12：00

**■場 所**

愛知県自治センター4階 大会議室  
オンライン Zoom \*ハイブリッド形式により開催

**■出席者**

**●委 員（敬称略）**

○…部会長

所属・職	氏 名	形式
国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院 情報学研究科 准教授	うらた まゆ 浦田 真由	対面
株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	えん せい 袁 静	対面
有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役	クリス・グレン	対面
日本薬科大学 特別招聘教授／内閣府クールジャパンプロデューサー	じんない ひろき 陳内 裕樹	オンライン
東海学園大学ともいき教養教育機構・経営学部 客員教授	よこやま ようじ ○横山 陽二	対面

**●オブザーバー（敬称略）**

所属・職	氏名	形式
公益社団法人日本観光振興協会 中部支部 事務局長	にしむら てつじ 西村 哲治	対面
一般社団法人中央日本総合観光機構 常務理事・事務局長	おぎの みつたか 荻野 光貴	対面
一般社団法人愛知県観光協会 専務理事	さかきばら ひとし 榊原 仁	対面

**●事務局（愛知県観光コンベンション局）**

観光コンベンション局各課長補佐・室長補佐同席

\*局長、推進監、課長、室長、担当課長はオンラインで参加。

## ■主な内容

### 【施策の柱】

- 施策の柱ではなく、分野としたほうがわかりやすい。
- 基本方針が施策の柱のどこに反映されているか分からない。

### 【数値目標及び管理指標】

- 新たなビジネスモデルや事業の創出、高付加価値なコンテンツの造成等に対する具体的な指標を設定すべき。
- 観光DXにかかる管理指標が、DXの推進を評価するのに適した指標だといえない。「DCATS (Dreaming→Consider→Activate→Travel→Share) モデル」の旅行者行動をデジタルで計測する手法が確立されているので参考になる。
- 観光関連事業者が各々の事業に取り組む中で、何に注力するとよいのかわかりやすい数値目標が提示できるとよい。

### 【観光DX】

- データを踏まえた柔軟な対応、臨機応変な予算調整などを実現することで愛知県が「データを中心に、観光地経営を行う先進県日本一」を目指すべき。
- メディア露出と送客との関係性がデジタルで証明できるので研究を。
- 観光庁が提示する「観光分野におけるDX推進」に沿った記載が望ましい。
- データを中心に、観光地経営を行う先進県となることを記載できるとよい。
- 広域でデータ整備し、効率的に観光マーケティングを進めるべき
- デジタルコンテンツを作成し、トラディショナルメディア（ラジオ・テレビ・新聞・雑誌）を活用してアピールすることが適切。
- 国や地域別ではなく、「ファン、ツウ」（武将好き、ジブリ好き等）別の趣味や特定の興味を持つ人々をターゲットにした興味関心マーケティングが有効であり、「ファン・ツウ」に着目したデータを収集し、ターゲットの興味に合わせた情報発信を行うべき。
- インバウンドのデータ整備も進める必要がある。

### 【イノベーション】

- 「イノベーション」の実現方法が各主体にとってはっきりしない。
- 新しい組み合わせやパートナーシップを通じてイノベーションを創出を進めるべき。
- 大学との連携を進めるとよい。

### 【持続可能な観光】

- 持続可能な状態とはどのような状態であるかを丁寧に記載する必要がある。なお、持続可能な状態とは、DXを活用した。①「見える化」が徹底されている状態（情報はダッシュボードで整理され、関係者がリアルタイムでアクセスできることが必須）、②財源が確保された状態だといえる。
- 観光財源の確保に向けたチャレンジの意思を示す必要がある。
- ペイドガイドの育成（持続可能な観光のための人材育成）は県が中心になって進めるべき
- 持続可能な観光をコンテンツ化するとき、アジアマーケットへのセールスが最適。